



# サンポートホール 通信

2005・7・25

# Vol. 7

I N D E X

特集

ホット・ビート・インタビュー **泉谷しげる**

ポスト泉谷しげるを目指して

ホール・ナビ [ 練習室編 ]

ステージ・プログラム **小宮孝泰ひとり芝居+付き馬屋おえん**

さんぼーとCLUB(友の会)入会のご案内  
サンポートホール高松施設利用のご案内



# 泉谷 *Sigeru* しげる *Izumiya*

## ホット・ビート・インタビュー



「全身全霊」でやってるから  
てめえらで感じるよ!

デビュー以来30年余。色褪せる事のない詞、ますます魅力の増すギターさばきと迫力。と同時に役者に文筆家、画家等。年齢を増すにつれてあらゆる面での才能を輝かせていらっしゃる泉谷さん。そんな泉谷さんに生の声をお聞きしました。

— 泉谷さんといえば現在、毎週月曜日9時からフジテレビのドラマ『エンジン』にてチーム・イチノセの監督・一之瀬新作役として非常に貫禄のある演技をなさっていらっしゃるんですね。またこれに限らず、最近役者としての活動が多く見受けられますが、ミュージシャン「泉谷しげる」としての活動は、この先どう展開されていくのでしょうか？

泉谷しげる（以下：泉谷） そうなんだよ！ ちょっといい演技をやっちゃうと、次から次へと来ちゃうんだよなあー（笑）

— 役者・ミュージシャン等多くの才能を併せ持っている泉谷さんですが、「表現者・泉谷しげる」として、8月26日に、当サンポートホール高松で行われるアコースティックライブでは、何を一番伝えたいとお考えでしょうか？

泉谷 俺のライブや演技は使い捨てだからようー。同じ事できないから「全身全霊」でやってるからてめえらで感じるよ！！

— 分かりました。そのつもりで感じたいと思います。最近、気に入っているモノはありますか？

泉谷 最近移動では必ずDVD観てるよなあー。東京～大阪、2時間半、ちょうどいいんだよなあー。

— そういえば、『ヤング・ギター』1976年5月号の対談で「俺もネ、いろんなもの好きだけど、映画はホント、バカみたいが好きなんですわね。」とおっしゃっていまし

たね（笑）。当時から変わらず映画好きということでしょうか。ちなみにバンド練習に精を出しているミュージシャン達がプロを目指す際に気をつける事はどんなことでしょうか？

泉谷 深爪には、気をつける。  
ステージでピック落としたら拾えねえぞ（笑）

—（笑）確かに、おっしゃる通りです。では、バンド活動のコツなどはあるのでしょうか？

泉谷 コツなんてねえよ！！ どうせすぐ解散しちゃうんだろ。

— 的を得たご指摘、有難うございます。最後にアマチュアミュージシャンに一言お願いします。

泉谷 同じステージに立ったらプロもアマも関係ねえよ。俺みたいになるなよ！！

お忙しいにも関わらず、快くインタビューに答えていただき有難うございました。言葉の端々から感じられる泉谷さんの温かさや人間の器の大きさを感じずにはいられませんでした。

8月26日に行われるライブが益々楽しみになってきました。

（2005年6月1日 インタビュアー：(財)高松市文化芸術財団 事業課 安森 三保）



# 疾駆する魂

歌手・俳優・画家・監督...  
留まることを知らない  
マルチな活躍ぶり。

1971年のレコードデビューから30余年、泉谷しげるは多彩な軌跡を記してきた。フォークシンガーとしてファーストアルバム『泉谷しげるの登場』やヒット曲『春夏秋冬』『白雪姫の毒リンゴ』『眠れない夜』『光と影』などを発表してきた70年代初期のエレック時代、小室等や井上陽水、吉田拓郎らとレコード会社を設立した70年代後半のフォーライフ時代、フォーク路線に決別してロック・ヴォーカルを志向した80年代前半のポリドール時代、メジャーレーベルからの作品リリースとともにゲリラライブなど過激なパフォーマンスを敢行した90年代、そして、自身のレベラーからのリリースを展開する今日にいたるまで、日本のシンガーソングライターの中でも独自の地歩を築いてきた。

一方、俳優やタレントとしても異彩を放っている。テレビドラマ『戦後最大の誘拐・吉展ちゃん事件』で誘拐犯人役を好演し、79年のテレビ大賞と芸術祭優秀賞に輝いた。以来、今村昌平監督の『ええじゃないか』、桑田佳祐監督の『稲村ジェーン』、小田和正監督の『緑の街』、テレビドラマ『金曜日の妻たち』などに出演。個性派俳優としての評価を不動のものとしてきた。

このほか、キッチュな話題と毒舌で好評を博してきたラジオのパーソナリティやテレビのレギュラー出演、ポップなアートワークで知られる絵画作品や映画の美術作品など、その活躍ぶりは枚挙にいとまがない。

1948年青森県生まれの泉谷しげる。その顔は歳を重ねるたびに男の履歴書ともいうべき深い魅力を帯びている。少し左に傾いで歌うステージから、軟弱な時代に對する挑発的なメッセージが消えることはない。

泉谷しげる  
アコースティックライブ  
8月26日(金) 開場18:00  
開演19:00

サンポートホール高松 大ホール  
全席指定 前売3,000円(税込)

お問い合わせ

(財)高松市文化芸術財団 TEL.087-825-5010

## Profile

- 1948 青森県長島に生まれる。3歳で上京。
- 1971 ライブアルバム『泉谷しげるの登場』でデビュー。
- 1975 小室等、井上陽水、吉田拓郎らとフォーライフレコード設立。
- 1976 L.A.のクラブ「トルバドール」で単独ライブを開催し喝采を浴びる。
- 1978 アサイラムに移籍。『80のバラッド』発表。
- 1980 石井聰互監督『狂い咲きサンダーロード』で美術・音楽を担当。ブルーリボン美術デザイン賞受賞。
- 1982 レコード会社をポリドールに移籍。『NEWS』発表。
- 1988 ビクター・レコードに移籍。『吠えるバラッド』発表。
- 1993 北海道・奥尻島の津波被災者救済として『一人フォークゲリラ』を日本各地で展開。
- 1994 長崎・普賢岳噴火災害救済チャリティーコンサート『メッセージソングの日』を開催。
- 1995 阪神・淡路大震災救済のために、再び街頭フォークゲリラを決行。
- 1997 仲井戸麗市との競演ライブ『～対決～復讐するは我にあり』を渋谷公会堂にて開催。
- 1998 レコード会社を再びポリドールに移籍し『私には夢がある』発売。
- 1999 1年以上に及ぶライブツアー『泉谷しげる展』が終了。
- 2000 アフリカ(ケニア・ナイロビ)にてライブを開催。
- 2001 アメリカのアフガニスタン侵攻の際に、都内でゲリラライブを敢行。
- 2004 ガガガSPのコザック前田とのユニットで、シングル『生活』発表。
- 2005 サンポートホール高松で、アコースティックライブを開催。

## ポスト泉谷しげるを目指して 街頭インタビュー

# 有名になっても ここで歌っていたい

身近な所にプロを目指してひたむきに練習している若者を見つけました。坂出駅でよく見かける戸高 拓さん。大きくは無いその身体から大きな声が響く。詞への確かな情熱を感じ思わず足が止まった。恐る恐る声をかけてみた。

「ちょっと質問してもいい？」  
「いいですよ。」



——坂出駅でよく見かけるけど、何年ぐらいやってるの？

「相方（つつちゃん）に誘われて始めて、4年位。相方も僕も熱心にやっています。二人で『はっば』と命名しています。」

——好きなバンドはある？

「『ゆず』と『みのりかわ書房』。シンプルな曲なのに明るい、その直球的なパンチ力に元気付けられる。」

——目指してるミュージシャンは？

「プロ全員。音楽で生活していきたいからそれぞれのプロの良さを見習いたい。そして、いつの日か有名になっても坂出駅のこの場所で歌っている、みたいな感じが理想。この場所は音がよく響いていいんです。通りすがりの人や見に来てくれた人たちが拍手してくれると、嬉しいし（笑）。」



戸高 拓さん 彼に聞きました



相方こと、つつちゃん



一緒にいた友人の一人

——場所といえばサンポートホール高松にもうってつけの練習室があるのだけど、知ってる？

「えっ本当ですか？いくら位なんですか？」

——1時間200円から600円の間で広さに応じて。利用してみようと思う？

「僕は単体で歌っている方が多いからやっぱりこの場所がいいかな。バンドを組んでいる人たちには、そこでしっかり練習できて欲しいですね。お前は？（近くに座っている友人に）」

（友：安いですね。近々行きます。）

——是非！駅には戸高 拓さんみたいにギター片手に歌っている人がいるけど、そんな人たちに対してはどんな風に思う？



「うまいなあ、とか下手だなあ、こうした方が良いんじゃないか、なんか思ってしまうですね。ギター以外の楽器に対しては分からない部分が多いので、曲を全体的に捉えて、逆に同じギターを弾いている人に対しては、部分的に僕なりに評価に近い感覚を覚えます。僕的にですが岡山駅で歌ってる人が上手な気がします。」

（友：僕は元々デザイナー志望だった為、常に何かで感情表現をしていきたいと考えてきました。そんな時音楽と出会いました。特にドラム。ドラムって一見単純そうに見えると思うのですが、その単純さをふまえた上で音に微妙な差異をつけるのが技であり、その難しさに挑戦しなくなったわけです。後、ピアノも習いたいですね。ギターとピアノの和音は同じなので、ピアノを知ることによりギターも知り、音楽への広がりが増えると思うのです。）

——最後に一言。

「それ、いつもよく聞かれる質問なのですが、なんて答えていいのが困ってしまいます。もっと音感が欲しいかな。」

（友：音楽をするには器材や練習室等結構お金がかかるんです。だから、率直にお金は欲しいですね。）

——素敵な演奏と楽しいお話、有難うございました。今後の活躍を心より祈っております。

（2005年5月14日 インタビュアー：(財)高松市文化芸術財団 事業課 安森 三保）



# この練習室、録音もできる んです。仲間と練習するな らここですね。やっぱり!

サンポートホール高松の練習室の存在を知った若者達(坂出駅でのあの戸高 拓さんの友人たち)がいつの間にか愛用してくれていました。ありがとう。ミュージシャンの目から見た練習室の良さを聞かせてもらいましょう。

## 僕たちがここを使う訳

何より有り難い録音装置。丁度良い広さです。もちろん設備も綺麗だし、充実しています。ホワイトボードがあり、作詞作曲しながらの練習も可能です。値段も非常に良心的です。ボーカルの声も楽器の音も綺麗に反響します。練習室が6部屋あり、身近にライバルがいるので意識が高まります。仲間が増える喜びが感じられます。互いに協力してライブを開いたり、情報交換をしたりして、香川のバンドを盛り上げていけるかも。



ドラム担当 中山 京介さん  
「ドラムは、指揮者みたいなもの。ボーカルの声や歌い方の性質、ギター、ベース等の全ての特徴をつかんで、まとめなければならないんです。」「家で練習は...」「現状のレベルは...」etc.. 音楽について語りだしたら止まる事の無い中山さん。穏やかな笑顔の下には、デビューという目標へ向けられた強い情熱をひしひしと感じさせられました。

ボーカル担当 垣本 大輔さん  
「色々な気持ちの時、音楽が僕を支えてくれたんです。それが音楽を始めた原点。僕達の音楽を聞いてくれる人にもそんな気持ちになって欲しい。」そう言いながら自作の詩を披露してくれました。現実と幻想のからみの中から浮きあがる、爽やかで優しい心情に、惚れ惚れしました。



ベース担当 井浦 誠哉さん  
「ベースは目立つ物ではないが、無いと音楽が活かない。縁の下の力持ち。そこがこの楽器の魅力なんです。」一見無口でクールな感じがする井浦さんでしたが、名前の通り誠実な彼の人柄はメンバー内におけるベースのような存在でした。

(これからも練習室で見かけるのを楽しみにしています。)

## COLUMN

# 利用体験レポート 3ステップで楽々利用 予約手続きから使用完了まで

「練習室を使いたい!!けどどうやって使うの?いくらぐらい?」って思ってた方も多はず。私、仲澤悦子が入館から利用終了まで、体験してみました。これから利用しようと思ってる方、今までとは違った利用の仕方を試みたい方、是非是非参考にしてください。では早速入ってみましょう。



### STEP 1

まず、初回と言うことで、利用者登録カードに記入しました。するとすぐに利用者カードを発行してくれました。(ちなみにこの時、本人確認の出来るものが必要です。また未成年の方は学生証と親の同意書が必要です。)



### STEP 2

次に利用申し込み手続きです。空き状況を確認してもらい、本日は1時間、第2練習室を予約し、必要な備品も選びました。「室料と備品、合わせて 円になります。」使用料を支払うと使用許可確認書が渡されました。

### STEP 3

さあ使いましょう!! 使用許可確認書と引き換えに利用する部屋の鍵を渡してくれます。うまく鍵が開けるかな?!子供達が喜んでドラムを叩いています。ダンスまがいの事をしてみたい(笑)なかなか可愛いです。

意外にドアが重たい!!!  
むむむ



終了



時間になると、部屋にあるインターホンで受付に終了の旨を連絡です。するとスタッフが確認に来ました。ここで鍵を渡して退室です。

サンポートホール高松でコンサートを開くアーティスト達も利用する練習室が多目的に安価で利用出来ます。

練習室一覧

	広さ(㎡)	一時間の料金	備品例
第1練習室	91	600円	アップライトピアノなど
第2練習室	64	400円	ドラム・キーボードなど
第3練習室	22	200円	ドラム・キーボードなど
第4練習室	20	200円	ドラム・キーボードなど
第5練習室	21	200円	ドラム・キーボードなど
第6練習室	22	200円	アップライトピアノなど

楽器などの備品類は別途料金がかかります。各室に机・椅子もございます(無料)。



## 小宮孝泰ひとり芝居



終演後のアフタートークに  
演出家・水谷龍二が来高



9月3日(土)

開場13:00 開演14:00  
サンポートホール高松 第1小ホール  
全席自由 前売2,500円

近年、タレントから俳優としての活躍が目立つ小宮孝泰。とりわけ、かつてのグループ・コント赤信号のラッセル石井や演出家の水谷龍二らと結成した星屑の会での公演、あるいは、地人会や加藤健一事務所、ナイロン100 への客演など、ストレートプレイ作品での好演ぶりに評価が高まっている。昨年には文化庁の文化交流使として渡英するなど期待の大きさがうかがえる。

今回公演の『接見』では、中年の国選弁護士を熱演する。とかく、徒勞の多い国選弁護人の悲哀をにじませながら、留置場の接見室で繰り広げられる人間ドラマが見もの。演出は、庶民的なドラマを手がけさせては屈指の実力を発揮する水谷龍二。全篇に笑いとペースを漂わせながら、現代人の内面を鮮やかに活写した舞台といえそう。

## 大ヒットした人情芝居が蘇る

テレビドラマのヒロインとして人気を博し、やがて映画や舞台へと活躍の場を広げてきた山本陽子。艶やかな美貌のなかに凛とした気高さを漂わせる女優の当たり役ともいべき作品が、この『付き馬屋おえん』である。「付き馬屋」とは、遊郭の借金を取り立てることを稼業にしており、男女や世間とのしがらみのなかで裏稼業を余儀なくされたおえんが颯爽と登場し、笑いと涙の人情芝居を観せてくれる。

出演は、円熟した女優の風格がただよう山本陽子のほか、中山仁、若林豪、三林京子、川崎麻世、山村紅葉ら、練達の俳優陣が脇を固めている。原作のシリーズ化に続き、TVや舞台でも大ヒットした作品が、二年ぶりの全国公演としてサンポートホール高松にやってくる。



若林豪



中山仁



山本陽子



川崎麻世



三林京子

# 付き馬屋おえん

平成十七年度 松竹特別公演

女郎蜘蛛はわらう

原作…南原幹雄 脚色…田中喜三 補綴・演出…金子良次

9月23日(金)

開場14:00 開演15:00  
サンポートホール高松 大ホール  
全席指定  
SS席7,000円 S席6,000円  
A席5,000円 B席3,000円

## さんぽーとCLUB(友の会) 入会のご案内

「さんぽーとCLUB」はサンポートホール高松友の会の名称です。  
1年中いつでも入会できます。入会要領は下記の通りです。

会員期間 / 1年間 会費 / 年会費2,000円

特典

- 財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
- 財団が指定する公演のチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
- 財団が指定する公演のチケットを、原則5%の割引価格で購入できます。  
(サンポートホール高松で発売するチケットを対象とします。)
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。
- 先行発売期間中に購入できる枚数は、1公演につき会員お1人様5枚まで。ただし、会員価格で購入できるのは、会員お1人様2枚までとします。

入会の手続き

ご来館によるお申込み

入会申込書に必要事項を記入のうえ、年会費を添えて、1階コミュニケーションプラザにお申込みください。

現金書留によるお申し込み

入会申込書に必要事項を記入のうえ、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局に現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間の有効期限は、入会日から1年を経過した日の属する前月の末日までです。  
以後会員期間を更新するときは、翌月の初日から1年間とします。



ご意見をお待ちしています!

この情報誌に関するご意見やご感想、また今後の掲載(取材)希望などがあればお寄せ下さい。

宛先 / 〒760-0019

香川県高松市サンポート2番1号  
サンポートホール高松  
「サンポートホール通信編集担当」迄

お手紙・はがき・FAX (087-825-5040)・  
メール (info@sunport-hall.jp) でお願い  
します。

## さんぽーとCLUB(友の会) 会員の皆様へ更新のお知らせ

更新時期が近づいている会員様には、更新日の約1ヶ月前に更新手順のお知らせをしますので、よろしくお願ひいたします。  
今後も、ホールでの楽しい催物・公演情報の送付や、会員様特典の提供に努めて参ります。ご期待ください。

## サンポートホール高松 施設利用のご案内

申込方法

窓口にて、使用許可申請書に必要事項を記入してください。

会議室、和室、リハーサル室、練習室はタカマツ・シティ・ネット(インターネット)より仮予約ができます。(ホールは不可)

<http://www.manabi.city.takamatsu.kagawa.jp/>

ただし、システムのご利用については、事前に利用者登録が必要です。また、仮予約から10日以内に窓口での正式予約手続きが必要になります。

**施設利用のご相談 / 9:00 ~ 18:30 施設使用料のお支払・登録等 / 9:00 ~ 17:00**

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

ただし、全国大会、中四国大会規模以上のコンベンション(国際会議関連も含む)、国または地方公共団体が主催する事業などの場合、使用日の2年前の月の初日から受け付けします。  
申請者の優先順位は原則として先着順です。ただし受付開始日(毎月1日)については、抽選により申請の順位を決定する場合があります。

詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページ(<http://www.sunport-hall.jp/>)をご覧ください。

## プレイガイド

サンポートホール高松・主催事業  
チケットのお求め

サンポートホール高松1Fコミュニケーションプラザ  
087-825-5008

チケットぴあ <http://t.pia.co.jp>

四国内のJR四国

主要駅のみどりの窓口・ワープ 各駅



ゆめタウン高松サービスカウンター ☎087-869-7500

高松三越7F友の会 ☎087-825-0768

ヤマハ高松店 ☎087-822-3608

タマルレコード本店 ☎087-861-2400

デュークショップ高松 ☎087-833-5450

香川県庁生協 ☎087-832-3822

高松市役所生協 ☎087-839-2043

ミヨシヤ楽器店 ☎0877-25-1234

秋山楽器店 ☎0877-46-8066

オオサカミュージックセンター ☎0875-25-2201

サンポートホール高松コミュニケーションプラザ以外は事業ごとに異なります。

お問い合わせ先

(財)高松市文化芸術財団

〒760-0019

香川県高松市サンポート2番1号

TEL 087・825・5000(代)

FAX 087・825・5040

<http://www.sunport-hall.jp/>

サンポートホール高松



サンポートホール高松



# 第2回サンポート演劇祭

05/9.3 ▶ 11.20

サンポート演劇祭は「市民のため」の地域に根ざし開かれた形の演劇フェスティバルを目指しています。第2回となる今回は『交流』『創意』『魅力』という観点からアマチュア劇団を公募し、その中から選出された3劇団がそれぞれ特色ある公演を行います。また、併せてゲスト招聘公演も開催。海の劇場「サンポートホール高松」の2つの小ホールが、各劇団により鮮やかに彩られます。

## ■劇団マグダレーナ 「9人のへらこいサヌキ人」

チケット発売中

9月18日(日) ①14:00 ②19:00  
第2小ホール

2009年には導入される現在の裁判を大きく変える裁判員制度とは? 地元で起きた殺人事件を審理するため、高松裁判所に一般市民から裁判員に選ばれた男女6人が集まってきた。裁判とはまったく無縁の人達が、不安を抱えながら裁判官の指導を受け審理は始まった。人を裁き、刑を決めるという初めての体験は右往左往しながらも、事件の本質に迫っていく。舞台劇としての本格的ミステリーを目指す劇団マグダレーナの新たな挑戦である。



「Not Guilty 無罪」より

お問合せ 大塚和明 TEL087-834-7392

## ■小宮孝泰 ひとり芝居「接見」

チケット発売中

9月3日(土) 14:00  
第1小ホール

水谷龍二原作・演出の作品を小宮孝泰が熱演。ある留置場の接見室。少しくたびれた中年の国選弁護士榎常太郎が、真夜中の傷害事件の容疑で逮捕された被害者の塩川秀夫と面会を繰り返す。塩川が事件を起こすような人物に思えない榎は、執拗に真実を語るように迫る…。榎の調査は熱を帯びていくが、彼には奇妙な持病がある。果たして事件の真相は解き明かされるのか? 公演後には、水谷龍二氏と小宮孝泰氏のアフタートークを開催。



お問合せ (財)高松市文化芸術財団 事業課 TEL087-825-5010

## ■劇団銀河鉄道 ミュージカル「MAO'05」

10月1日(土) ①18:30 / 10月2日(日) ②13:30 ③18:30  
第1小ホール

1997年、ただ1度だけ上演され美しく再演が待たれていた、ファンキー末吉作曲の伝説的ミュージカルが完全リメイクによって蘇る。ひたすら歩くことによって自分の生きる道を見出そうとする青年・MAO。さまざまな出会いと人間模様で彩られた旅路の果てにMAOが出会ったものとは何か。空海の「空白の7年間」とよばれる謎の時間を、大胆な想像力によって再構成するロード・ミュージカル。ON THE ROAD! ここからいけばん遠い処へ!



お問合せ 上村良介 TEL087-881-1968

## ■劇団青年団 「ヤルタ会談・忠臣蔵OL編」

11月3日(木・祝) 13:00  
第1小ホール

平田オリザ率いる劇団青年団の2本立て公演。「ヤルタ会談」: 第二次世界大戦終盤の頃、それぞれの思惑を含み会談するスターリン、ルースベルト、チャーチルの三人。コミカルな中にも、歴史的背景がしっかりと描かれている。「忠臣蔵OL編」: 『お屋休みに昼食を取るOLたちによる赤穂藩士御家再興のシナリオ検討』…“こんなOLいるいる!”といった人物描写の面白さを、シュールな笑いをちりばめて描く。



「ヤルタ会談」より 撮影:青木司

お問合せ (財)高松市文化芸術財団 事業課 TEL087-825-5010

## ■劇団ドラマ・サロン 「奉公さん〜郷土人形の由来を哀歌こめて物語る〜」

11月20日(日) 13:00  
第1小ホール

讃岐の郷土玩具「奉公さん」についてはその由来はあきらかではないが、讃岐を背景とした民話的素朴さの中に情緒的な輝きのある作品である。奉公さん人形は、子どもたちの体に入った病気の悪魔を自分の体に入れて子どもたちの身代わりとなって、広い海の向こうに流されていく。いつしか、まかした まかした むごいことなら奉公さんに、と歌われるようになった。命の尊さ、人の心の優しさを表現し、郷土の歴史を継承していきたい。



お問合せ 大谷智勢子 TEL087-834-7027

・チケット料金、購入方法などの詳細については、劇団ごとに異なりますので、各お問合せ先へご連絡ください。

・都合により、公演内容が変更になる場合がありますのでご了承ください。

第2回サンポート演劇祭事務局  
(財)高松市文化芸術財団 事業課内  
TEL087-825-5010 (9:00~18:00)

平成十七年度 松竹特別公演

平成年9月23日(金)  
サンポートホール高松 大ホール

開場14時 開演15時

女郎蜘蛛はわらう

「かいせつ」  
江戸は吉原、仕出し屋「喜の字屋」の美貌の娘が、裏では女郎の揚げ代のツケを取り立てる「付き馬屋」を稼業としている。大抵男の仕事であったこの職業を美しい女性に設定したことで、原作小説のシリーズ化を始め、テレビ化・舞台化され大ヒットした作品です。主人公のおえんはテレビ・舞台共、山本陽子只一人の当たり役で、きりりとして艶やかな容姿とビタリ重なり、娯楽時代劇には数少ない魅力あふれるヒロインとしてお馴染みとなり、全国公演としては平成十三年以来二回目、颯爽と登場いたします。

原作/南原幹雄 脚色/田中喜三 補綴・演出/金子良次 美術/大野 泰 照明/北内隆志  
音楽/橋場 清 効果/高口 寛 殺陣/谷 明恵 演出助手/安部晴治  
舞台監督/小山昌克・小柳津暁生 演出協力/成瀬芳一 制作/松本康男・松井 寛  
本田景久 制作協力/大迫辰己 製作/松竹株式会社